



2025 年 4 月 28 日

各 位

会社名 株式会社タウンズ
代表者名 代表取締役社長 野中 雅貴
(コード番号 : 197A 東証スタンダード市場)
問合わせ先 取締役管理本部長 内山 義雄
TEL. 055-957-3090

株式会社タウンズ

尿中マイクロ RNA を用いた早期がん検出検査を行うスタートアップ Craif 株式会社と

資本業務提携契約を締結

株式会社タウンズ（本社：静岡県伊豆の国市、代表取締役社長：野中 雅貴、証券コード：197A、以下「当社」）と Craif 株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役：小野瀬 隆一、以下「Craif」）は、Craif による第三者割当増資を当社が引き受けたこと、またマイクロ RNA を用いたがんリスク検査「マイシグナル」の販売提携、認知症をはじめとする神経変性疾患の蓋然性検証とプロダクト展開を目的とした業務提携に関する基本合意書を締結したことをお知らせいたします。

1. 提携の背景

がん検査市場について

世界中でがん患者数は年々増え続けております。早期がん検診市場は、2018 年時点で約 666 億ドル（約 10 兆円）の市場規模と推定され、今後さらなる拡大が予想されます。

一方で、日本人の半数以上が一生のうちに一度はがんと診断されるにもかかわらず、繁忙等を理由に、がん検診の受診率は 50%前後¹に留まっており、がん検診を受けないことが、がんの早期発見の大きな障壁となっています。尿中マイクロ RNA 検査は、簡便かつ非侵襲な検査を経済的な価格で実現しており、がん検診のハードルを下げ、がんの早期発見率の向上に繋がると期待されます。

¹ 内閣府がん対策・たばこ対策に関する世論調査（令和元年 7 月調査）

マイクロ RNA について

マイクロ RNA とは、RNA の一種で、動植物の成長、発達、健康維持に非常に重要な役割を果たし、病気の原因や治療法の研究にも使われています。またマイクロ RNA は、がん細胞そのものや、がん微小環境の制御に加わることで、がんの発生・悪性化・転移など病態との深い関わりがあることが示されています。

マイクロ RNA は、既存のがん検査と比較して、早期段階からの検出可能性や、疾患特異性の高さから、新たなバイオマーカーとして注目されています。マイクロ RNA の研究はがん以外の分野でも盛んであり、アルツハイマー型認知症など神経変性疾患への研究や、その他疾患の早期診断等への応用も期待されています。マイクロ RNA を含むがんマーカーの検査においては血液を検体とすることが一般的ですが、Craif は、独自の技術により、非侵襲性、かつ簡便に採取できる尿検体を用いて、多種類のがんを特定し、高精度にがんのリスクを検知することを可能としており、既存のがん早期診断を一新するポテンシャルがあると期待されます。

Craif の事業内容と競争優位性について

Craif は、尿中のマイクロ RNA を用いた次世代がんリスク検査の研究開発等に取り組むスタートアップです。独自の NANO IP (NANO Intelligence Platform) ²を活用し、マイクロ RNA の効率的な捕捉、正確な計測、データ解析、及びそれらの適切な解釈とデータベースへの集約を通じて、様々なバイオマーカーの網羅的な探索を可能としています。採取後の尿検体の取扱い技術にも優れており、検体のライブラリ化と適切な管理により、継続的に拡張する尿中バイオマーカーのプラットフォームを構築しています。また、高品質な元データを活用した機械学習アルゴリズムにより、継続的な精度改善とクオリティコントロールを実現しています。

これらの取り組みは日本にとどまらず世界から注目されています。本田圭佑氏が設立した X&KSK は、Craif へ同ファンド過去最大額を出資しており、本田圭佑氏は Craif の社外取締役就任しております。

Craif のプロダクトは主に D2C ビジネスとして展開しており、完全非侵襲な検査であることを全面的に活かし、自宅で簡便にできるがんリスク検査として高い顧客体験を提供しています。

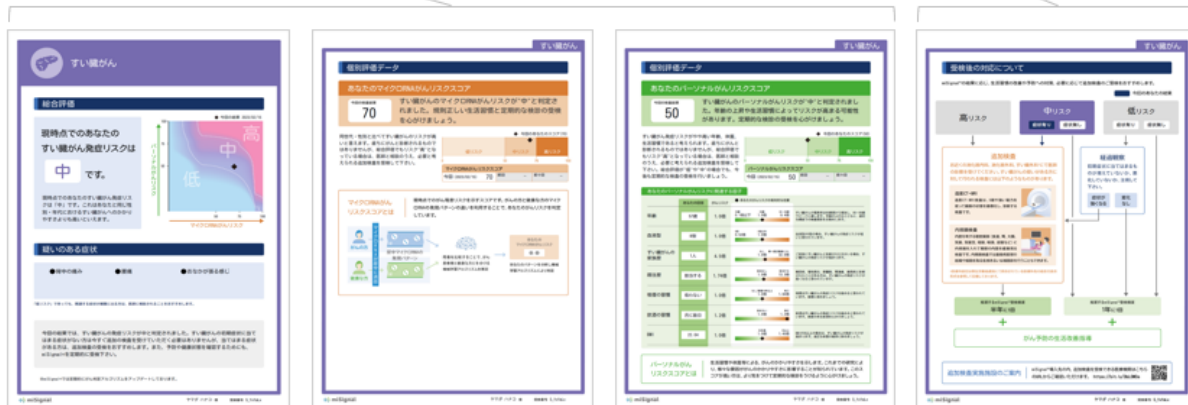
² <https://craif.com/rd-services/>

2軸でがん種毎のリスクを評価

- 「マイクロRNAがんリスク」：miRNAの解析結果から導き出される
- 「パーソナルがんリスク」：生活習慣から導き出される

リスクがある場合はネクストステップを提示

- リスクがあると検査結果が出た場合、「受検後の対応」として受診すべき診療科やクリニックを案内（がん種毎にそれぞれ作成）



「マイシグナルシリーズ」概要

Craif はがんリスク検査「マイシグナルシリーズ」を展開しています。

「マイシグナルシリーズ」は、がんの予防から早期発見まで、課題に応じた4つの検査サービスで包括的ながん対策をサポートします。これらのプロダクトはドラッグストア、調剤薬局でもお買い求めいただけます。

	予防		早期発見	
商品	 がんリスクを知り、がん対策をスタート マイシグナル NAVI		 高精度AIで、がんリスクを早期発見 マイシグナル SCAN	
検査物	だ液	尿	尿	尿
測定対象物	DNA	8-OHdG	ジアセチルスペルミン	マイクロRNA
目的	生活改善 遺伝子検査で、 生涯注意すべきがん種を知る	生活改善 DNAストレスを下げ、 がんリスクを低減	がん対策 より手軽に、 がんリスクを早期発見 ＊がん種の区別なし	がん対策 高精度なAIで、 がんリスクを早期発見 ＊がん種の区別が可能

当社が Craif に注目した理由

感染症 POCT をリードする当社は、慢性疾患領域において、予防・スクリーニング段階の検査の実装により、疾患への早期介入に繋げることを今後の目標の一つとしております。その為には、自社開発のみならず提携先の技術を柔軟に取り入れることにより、スピード感を持って取り組む必要があると考えております。

Craif はマイクロ RNA を用いた疾患の早期検出に向けた研究開発を行う有力なスタートアップであり、当社が Craif と提携することで、慢性疾患領域、特にがんや神経変性疾患の予防・スクリーニング検査技術を拡充し、より先端的なプロダクトの開発が可能になると考え、当社として注目しておりました。

厳正な調査を経て、Craif は当社が掲げる目標達成に重要なパートナーであると判断し、本契約締結に至りました。両社の協力により、がんや神経変性疾患、さらにはその他疾患領域での新たなプロダクト開発を目指してまいります。

両社長からのコメント

当社 代表取締役 野中 雅貴からのコメント

この度の Craif 株式会社様との資本業務提携の成立を大変うれしく思っております。当社がかねてより進めているがん領域、神経変性疾患領域への進出に向けて、本提携は大きな一歩となります。Craif 様の有するマイクロ RNA に関する豊富な知見と、当社の検査技術を融合することで、マイクロ RNA を用いた検査技術の革新と、さらには様々な疾患領域の予防・スクリーニング検査の開発を目指して共に進んでまいります。

Craif 代表取締役 CEO 小野瀬 隆一からのコメント

この度、株式会社タウンズ様との資本業務提携を締結できたことを大変嬉しく思っております。

Craif は「がんで苦しむ人をゼロにする」というミッションのもと、尿中マイクロ RNA を用いた非侵襲・高精度のがんリスク検査「マイシグナルシリーズ」の開発と社会実装を進めてまいりました。今回、感染症 POCT 領域で豊富な実績とネットワークを持つタウンズ様とご一緒できることにより、がん領域における早期発見体制の構築をさらに加速できると確信しております。加えて、神経変性疾患など、マイクロ RNA の可能性が期待される新たな疾患領域にも共に挑戦していけることを楽しみにしています。Craif は今後も、テクノロジーとサイエンスを基盤に、がん検査の新たなスタンダードを創出し、日本発の技術で世界中の人々の健康に貢献してまいります。

2. 業務提携の内容

当社の営業網を用いて、「マイシグナルシリーズ」の医療機関向け販売を支援してまいります。加えて、認知症をはじめとする神経変性疾患におけるマイクロ RNA 検査の蓋然性検証とプロダクト展開に、両社で取り組んでまいります。

3. 資本業務提携先の概要

(1) 名称	Craif 株式会社
(2) 所在地	東京都文京区湯島 2-25-7 ITP 本郷オフィス
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 CEO 小野瀬 隆一
(4) 事業内容	がん領域を中心とした次世代検査の研究開発・提供
(5) 資本金	100 百万円
(6) 設立年月	2018 年 5 月
(7) コーポレートサイト	https://craif.com/

4. 今後の見通し

現時点で、本提携がタウンズの業績に与える影響は軽微であると考えておりますが、重要な影響を与えることが判明した場合には速やかに開示します。

タウンズについて

株式会社タウンズは、感染症 POCT の最大手企業の 1 社で、様々な診断技術を応用した体外診断用医薬品と研究用試薬を製造し、国内外へ販売しています。

主要製品となる感染症 POCT の分野では、高品質な製品と顧客サービスを提供する企業として、病院及び開業医のみならず、研究機関やバイオベンチャー企業などからも広く認知されてきました。

昭和 62 年(1987 年)の創業以来 30 年以上にわたり、人々の生活に安心と潤いを届けることを社是とし、製品開発と改良に取り組んでいます。

近年は、POCT に加えて、先端技術を活用した受託検査サービスなど、新たな事業領域の開拓にも積極的に取り組んでおります。これからも臨床検査のニーズにこたえるべく、研究開発を続けてまいります。

詳細については企業サイト《<https://www.tauns.co.jp>》をご参照ください。

以 上